



平成26年9月25日

健康長寿社会の実現に貢献する歯科医療人養成へ 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラムに採択

<概要>

歯学教育改革コンソーシアム（11大学4研究施設）は、超高齢社会に対応した歯科医を養成しようと「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革」を行います。本事業は、7月28日、文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラムに採択されました。

超高齢社会においては、病者や要介護者に特化した新たな歯学教育を展開していく必要があります。本事業は、歯学部生や卒後臨床研修歯科医、歯学系大学院生が対象。講義や介護現場での演習、実習を通し、口腔機能の維持管理法、認知症の最新知識などを習得します。さらに、医師に比べ患者の死に直面する機会が極端に少ないことも踏まえ、死生学を学ばせるユニークな講座も開講します。

同コンソーシアムは、死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築を目指します。

岡山大学は、全国10の国・私立大と連携し、超高齢社会に対応した歯科医の養成事業「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革」に着手します。適切な死生観に基づき、患者の病床、介護現場や終末期に寄り添えるプライマリケア歯科医や、高齢者の「食」を基盤とした健康増進、介護予防、虚弱予防を目指した新しい歯学教育・研究を推進できる歯科医を育てることを目標としています。

本事業は、歯学部生や卒後臨床研修歯科医、歯学系大学院生が対象に、連携大学共通の講義シリーズを開講。死生学や地域包括ケア概念の導入など、超高齢社会に対応した新たな歯学教育を展開していきます。

歯学教育改革コンソーシアムは、岡山大が主幹校となり、北海道大学、金沢大学、大阪大学、九州大学、長崎大学、鹿児島大学、岩手医科大学、昭和大学、日本大学、兵庫医科大学の10道府県の11国・私立大で構成。東京大の死生学・応用倫理センター、高齢社会研究機構（東京都）、国立長寿医療研究センター（愛知県）、東京都健康長寿医療センター（東京都）といった4専門機関も協力施設として加わっています。

<お問い合わせ先>

岡山大学歯学部長 窪木拓男

（電話番号）086-235-6680

（FAX番号）086-235-6684